



いりょうほうじんきょうあいかい

医療法人協愛会

令和6年7月16日認定

〇企業概要

代表者	理事長 三好 正規
所在地	山口県山口市阿知須4841番地1
事業内容	医療業
労働者数	373名（男性81名、女性292名）
法人のHP	https://www.kyoai.or.jp



〇一般事業主行動計画に定めた目標とその達成状況

計画期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
目標	(1) 子どもの出生時における男性の育児休業取得を促進するために、配偶者が出産を控えた男性スタッフに対し、当院の両立支援策を説明するパンフレットを新たに作成する (2) 魅力ある職場づくりに向け、幅広い両立支援策を検討・実行する
目標に対する取組内容	(1) 育児休業制度だけでなく、育児休業を取得するメリットや、休業中の経済的支援、職場復帰後に利用することができる制度等をまとめたパンフレットを作成し活用。 (2) 男女ともに仕事と家庭を両立しキャリアアップしていくための法人の取組について、テレビやラジオ等の各種メディア、外部の研修会、朝礼等で発表。 職員が退職後の生活に安心感を持って働ける環境を実現するため、企業型確定拠出年金制度及び積立NISAの2本立ての資産形成支援制度「AKBライフプラン制度」を創設し、職員向けの説明会を開催し加入を促進。 あらゆる業務の品質を良くするための業務改善プロジェクト「GQプロジェクト」を展開。現場での気付きを募集し、検討・実行することで、業務・サービスの品質向上に向け職員による自発的・自律的な取組を促進。

〇育児休業取得率（期間中育児休業取得者数／期間中出産者数による。）

女性労働者の育児休業取得率	100%
---------------	------

〇育児休業又は育児目的休暇取得率（期間中育児休業又は育児目的休暇取得者数／期間中配偶者出産者数による。）

男性労働者の育児休業又は育児目的休暇取得率	53.8%
-----------------------	-------

〇その他の取組状況

育児をする労働者のための措置	小学校1学年2学期に達するまでの子を育てる者を対象とした短時間勤務制度を整備。事業所内保育施設、出産祝金支給制度あり。
所定外労働の削減のための措置	毎月給与支給日をノー残業デーに設定。
年次有給休暇の取得促進のための措置	年次有給休暇を連続して取得できるリフレッシュ休暇制度を整備。

〇認定企業の声

【事業主の声】この度5回目の子育てサポート企業認定を受けることができたことを大変嬉しく思っています。5回目の行動計画は、コロナ禍のまっただ中に過ぎていきました。病院や関連介護施設での対策と同様、院内保育所でのコロナ対策も本当に大変でしたが、全職員一丸となり乗り越えてきました。近年では少子高齢化の進展を本当に実感しており、2008年に初回の行動計画を策定した頃と比べるとワーク・ライフ・バランス（両立支援）が当たり前の中になったと思います。この5年間は、当法人がこれまで積み上げてきた両立支援策をベースに、働き方改革や老後のライフプランサポート等、子育て期に限らない両立支援策を検討・実行してきました。これからも時代に合わせた総合的支援を、試行錯誤しながら継続して取り組んで参ります。

【育児休業を取得した女性労働者の声】

① 初めての出産・育児で戸惑うことも多くありましたが、日々成長していく我が子をしっかり見つめ育児に専念出来たのも、1年間育児休業を取得出来たおかげだと思っています。長期休業になるにも関わらず「育児頑張ってるね」と嫌な顔ひとつせず送り出してくれた病棟のスタッフの方々にも大変感謝しています。また、院内保育所が併設されており、病棟との連携も取れているので、近い環境で子供を預かってくれる事のありがたさも実感しています。仕事と育児の両立は大変ですが、働きやすい環境がある事に感謝しながら日々頑張っています。

② 長い不妊治療を経て、2人の子供に恵まれ、どちらも産休育休を取得しました。上司や同僚の方に温かく送り出していただき、子供を生むことの奇跡、命の尊さを実感しながら充実した育休を過ごす事ができました。仕事復帰してからは、時短勤務をしています。2人とまだまだ手が掛かるため大変助かっています。月1回は子供が熱を出してしまい、看護休暇を取得しています。その際は、上司や同僚の方が担当業務を快く引き受けてくださり、安心して看病ができています。職場の皆さんの理解と協力がなければ、育児と仕事の両立は成り立ちません。なので、もっと職場の戦力になれるように、一人倍頑張ろうというモチベーションに繋がっています。

【育児休業を取得した男性労働者の声】同時期に男性医師が2週間くらい取得している姿を見て、自分も育児休業を取得してみました。期間は少しでしたが、どうせ取得するのならしっかり育児に向き合おうと思い、朝から夜まで一通りの子どものお世話にチャレンジしました。今回は第三子ですが、上の子どもたちが育児に協力的だったのは新たな発見でした。取得して良かったと感じています。

厚生労働省

山口労働局